

PRESS INFORMATION

2016年4月18日

株式会社日本レースプロモーション

4月23日(土)～24日(日) 2016 NGK スパークプラグ 鈴鹿 2&4 レース 2016 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 第1戦 鈴鹿サーキット 開催概要

株式会社日本レースプロモーション(代表取締役社長 白井 裕、所在地:東京都千代田区)は、4月23日(土)～24日(日)の2日間、三重県鈴鹿市 鈴鹿サーキット国際レーシングコース(1周:5.807km)で開催される「2016 NGK スパークプラグ 鈴鹿 2&4 レース」2016 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 第1戦 鈴鹿サーキット について選手権概要を発表します。

2016 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズは、全7戦、日本全国6カ所のサーキットを11チーム(エントリー)、国内外の19名(19台)のドライバー(※1)が転戦しチャンピオンが争われる、アジア地域唯一の国際格式選手権シリーズです。

(※1)ドライバー:国内:12名、海外:5カ国(イギリス、ドイツ、ベルギー、ブラジル、インド)、7名

当シリーズ第1戦は、鈴鹿サーキット国際レーシングコース(1周5,807m)を43周、トータル249.701kmにて争われます。

まさに見所満載の2016年。その筆頭は先日のF1バーレーンGPでの10位入賞、1ポイント獲得で、今世界中の注目を集めている、GP 2015年シリーズ王者スフェル・バンドーン(ドコモ・チーム・ダンディライアン・レーシング)が日本でどんな走りを見せるのか?そしてもちろん昨年のシリーズ覇者石浦宏明(プロモュー/セルモ・インギング)がシリーズ2連覇を成し遂げるのか?また昨年惜しくもシリーズランキング2位にとどまった中嶋一貴(バンテリン チーム トムス)の王座奪還なるか?さらに参戦2年目を迎え大きな期待のかかる小林可夢偉(スノコ チーム ルマン)、テストタイム絶好調の山本尚貴(チーム無限)、実力者揃いの海外勢など、100分の1秒にしのぎを削るドライバー達の熱い戦いが展開されます。

また、今年からタイヤ供給がヨコハマタイヤにシフトしたことや、HONDA、TOYOTAのエンジン熟成など、ドライバーだけでなくハード面でも大注目の開幕戦です。



2015 全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズチャンピオン プロモュー/セルモ・インギング #38 石浦 宏明

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

YOKOHAMA

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
◎日立オートモティブシステムズ

J SPORTS

SONY
Action Cam

NIKKI-ICHI
人気酒造

【ご参考】

1. 全日本スーパーフォーミュラ選手権とは？

純然たるレーシングマシンであるオープン・シングルシーターのフォーミュラカーによって競われる国内最高峰の自動車レースです。一般社団法人日本自動車連盟(JAF)が公認し、株式会社日本レースプロモーションのプロモートにより、1996年にフォーミュラ・ニッポンとしてスタート。2013年より名称をスーパーフォーミュラに変更し現在に至っています。

2. チャンピオンシップ

2016全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ は、11チーム(エントラント)、国内外の19名(19台)(海外5国7名:イギリス2名、ベルギー2名、ドイツ、ブラジル、インド各1名)のドライバーで争われ、各レースの成績に応じてドライバーとチームにポイントが付与され、ポイント合計の多い順に年間シリーズ順位が決定します。

2016 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ ポイントシステム

順位	優勝	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位以下	P.P.
1大会1レース	10	8	6	5	4	3	2	1	0	1
1大会2レース	5	4	3	2.5	2	1.5	1	0.5	0	1

*P. P. : ポールポジション(予選1位)には、ドライバーにのみ1ポイントが与えられる。チームポイントには加算されない。

*1大会2レース制の場合、レース1、レース2共に1レース制の得点の半分が与えられる。

*1大会2レース制の場合、最終戦に限りレース1、レース2の勝者には通常ポイントとは別に3ポイントが与えられる。これによりポールポジション+2連勝で最大18ポイントが与えられる。

*最終戦終了時点で、複数のドライバーまたはチーム(エントラント)が同一ポイントを獲得している場合は、高得点を得た回数が多い順に順位を決定する。

3. シリーズ賞典

シリーズ賞典は、年間チャンピオンドライバーには、株式会社日本レースプロモーションよりシリーズドライバーズチャンピオンカップと賞金が授与されるほか、自由民主党モータースポーツ振興議員連盟より同連盟杯が贈られ、観光庁より観光庁長官杯が交付されます。また年間チャンピオンチームには経済産業省より経済産業大臣杯が交付され、株式会社日本レースプロモーションより賞金が授与されます。

4. レース車両

シャシーはダラーラ社(イタリア)製のSF14。エンジンはホンダとトヨタが供給する、【HONDA HR-414E】または【TOYOTA R14A】(気筒配列:直列4気筒、排気量:2,000cc、燃料吸気方式:ダイレクトインジェクション)、このエンジンの特徴としては「燃料リストリクター」(燃料流量規制システム)を全機装備し、燃料流量を一定にすることにより内燃機関として高効率をめざしたエンジンを搭載しています。タイヤはすべてヨコハマタイヤ製のワンメイク供給です。SF14は、世界最高峰のフォーミュラ1マシンと同等のコーナリングスピードを叩き出し、国内外トップドライバーにより白熱したドライビングバトルが繰り広げられます。

5. オーバーテイクシステム

各エンジンに装備されている燃料リストリクターを活用し、燃料供給量を増加させ一時的にパワーを上げることにより(※1)、オーバーテイクをより促すシステムです。ステアリングにあるボタンを操作し、1大会につき5回、各20秒間使用可能となります。使用中はドライバーのヘルメット後方にあるランプ(オーバーテイクランプ=OTL)が点滅し、観客からも視認できます。またポイントリーダードライバーは、赤色のランプ(リーダーズレッド)を装着しています。このシステムは、スーパーフォーミュラ独自の仕組みです。

(※1)オーバーテイクシステムの効果について

- ・メカニズム:オーバーテイクシステム作動時に燃料流量を10kg/h増させる
- ・効果:オーバーテイクシステム作動時に約60ps,10%の出力増
- ・ルール:オーバーテイクシステムは1回に20秒間作動、1大会で5回使用可能

燃料流量制限について

- ・鈴鹿、富士大会…燃料流量95kg/h
- ・その他大会…燃料流量90kg/h

6. 公式予選

鈴鹿サーキット国際レーシングコース(1周 5,807m)を、決められた時間内に、各チームが1周タイムのベストをめざし、ノックアウト方式でタイムアタックを行います。

ノックアウト方式とは、予選時間を3つに分け、短いアタック時間の中、好タイムが出なければ文字どおりノックアウト(脱落)されることから、この呼称となりました。19台エントリーの場合では、まずQ1(20分間)で15位～19位のスタート位置を決定し、10分間のインターバル後、Q2(7分間)を行い9位～14位のスタート位置を決定します。さらに10分間のインターバルの後、Q3(7分間)を行い、1位～8位の決勝レーススタート位置を決定します。

7. 決勝レース

鈴鹿サーキット国際レーシングコースを43周、トータル249.701kmを走行します。

2016 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 開催スケジュール

日程	ラウンド/サーキット	予選方式	決勝レース方式
4 / 23 ~ 24	第1戦/鈴鹿サーキット	ノックアウト	250 km
5 / 28 ~ 29	第2戦/岡山国際サーキット	ノックアウト	250 km
7 / 16 ~ 17	第3戦/富士スピードウェイ	ノックアウト	250 km
8 / 20 ~ 21	第4戦/ツインリンクもてぎ	ノックアウト	250 km
9 / 10 ~ 11	第5戦/オートポリス	ノックアウト	250 km
9 / 24 ~ 25	第6戦/スポーツランドSUGO	ノックアウト	250 km
10 / 29 ~ 30	第7戦/鈴鹿サーキット	ノックアウト	2レース制

8. 鈴鹿サーキット国際レーシングコースについて

コースは東西に細長く、中間部分の立体交差を挟んで右回りと左回りが入れ替わる、世界的にも珍しい8の字形のレイアウトを有するサーキットです。コース全長は5.807kmで、日本国内のサーキットの中では最長です。コース幅は10～16m。コーナー数は20。最大高低差は52m。世界の多くのサーキットと比べ摩擦係数の高いアスファルト舗装です。土地の高低差と低速～高速コーナーのバランスが上手く配合されており、難易度が高く走り甲斐のあるコースとして海外のレース関係者からも高く評価されています。

2016 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 第1戦 鈴鹿サーキット エントリーリスト

(車両形式:SF14、タイヤ:ヨコハマタイヤ)

Car No.	ドライバー名	生年月日	出身地	チーム名 (読み)	監督	エンジン
1	石浦 宏明 Hiroaki Ishiura	1981/4/23	日本/東京都	P.MU/CERUMO・INGING (プロミュー/セルモ インギング)	立川 祐路	TOYOTA RI4A
2	国本 雄資 Yuji Kunimoto	1990/9/12	日本/神奈川県			
3	ジェームス・ロシター James Rossiter	1983/8/25	イギリス	KONDO RACING (コンドウ レーシング)	近藤 真彦	TOYOTA RI4A
4	ウィリアム・ブラー William Buller	1992/9/17	イギリス			
7	ナレイン・カーティケヤン Narain Karthikeyan	1977/1/14	インド	SUNOCO TEAM LEMANS (スノコ チーム ルマン)	土沼 広芳	TOYOTA RI4A
8	小林 可夢偉 Kamui Kobayashi	1986/9/13	日本/兵庫県			
10	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi	1986/11/20	日本/栃木県	REAL RACING (リアル レーシング)	金石 勝智	HONDA HR-414E
11	伊沢 拓也 Takuya Izawa	1984/6/1	日本/東京都			
16	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	1988/7/11	日本/栃木県	TEAM 無限 (チーム ムゲン)	手塚 長孝	HONDA HR-414E
18	中山 雄一 Yuichi Nakayama	1991/7/25	日本/東京都	KCMG (ケーシーエムジー)	土居 隆二	TOYOTA RI4A
19	ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ Joao Paulo de Oliveira	1981/7/13	ブラジル	ITOCHE ENEX TEAM IMPUL (イトウチュウ エネクス チーム インパル)	星野 一義	TOYOTA RI4A
20	関口 雄飛 Yuhi Sekiguchi	1987/12/29	日本/東京都			
34	小暮 卓史 Takashi Kogure	1980/8/1	日本/群馬県	DRAGO CORSE (ドラゴ コルセ)	道上 龍	HONDA HR-414E
36	アンドレ・ロッテラー Andre Lotterer	1981/11/19	ドイツ	VANTELIN TEAM TOM'S (バンテリン チーム トムス)	舘 信秀	TOYOTA RI4A
37	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima	1985/1/11	日本/愛知県			
40	野尻 智紀 Tomoki Nojiri	1989/9/15	日本/茨城県	DOCOMO TEAM DANDELION RACING (ドコモ・チーム・ダンディライアン・レーシング)	村岡 潔	HONDA HR-414E
41	ストフェル・バンドーン Stoffel Vandoorne	1992/3/26	ベルギー			
64	中嶋 大祐 Daisuke Nakajima	1989/1/29	日本/愛知県	NAKAJIMA RACING (ナカジマ レーシング)	中嶋 悟	HONDA HR-414E
65	ベルトラン・バゲット Bertrand Baguette	1986/2/23	ベルギー			

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

YOKOHAMA

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
◎日立オートモティブシステムズ

J SPORTS

SONY
Action Cam

NINKI-ICHI
人気酒造

－開催概要－

- 大会名称 : 2016 NGKスパークプラグ 鈴鹿2&4レース
2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第1戦
- 開催日程 : 2016年4月23日(土) 公式予選
2016年4月24日(日) 決勝レース
- オーガナイザー : (4輪) グループ・オブ・スピードスポーツ(GSS)
鈴鹿モータースポーツクラブ(SMSC)
株式会社モビリティランド
(2輪) 一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会(MFJ)
株式会社モビリティランド
- 公 認 : (4輪) 国際自動車連盟(FIA)
一般社団法人日本自動車連盟(JAF)
(2輪) 国際モーターサイクルズ連盟(FIM)
一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会(MFJ)
- 認 定 : 株式会社日本レースプロモーション(JRP)
日本フォーミュラスリー協会(JF3A)
- 後 援 : スポーツ庁(予定)／観光庁(予定)／三重県／鈴鹿市／鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会
／一般社団法人鈴鹿市観光協会／鈴鹿商工会議所
- 同日開催 : 2016 MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ 第2戦 (JSB1000 200km耐久・8面トリアウト)
2016年 全日本フォーミュラ3選手権 第1戦&第2戦
2016 N-ONE OWNER'S CUP
Honda Sports & Eco Program 10リッターチャレンジ

【TV放映予定】

● J SPORTS

全7戦の予選と決勝の様様をライブ中継。再放送やレースダイジェスト番組も放送します。

放送スケジュールは、「J SPORTSモータースポーツ」ウェブサイト内の「スーパーフォーミュラ」ページ、または「スーパーフォーミュラ オフィシャルウェブサイト」でご確認ください。

http://www.jsports.co.jp/motor/super_formula/

<http://www.superformula.net/>

● BSフジ『スーパーフォーミュラ Go On!』

あの時、あの瞬間、何が起きていたのか？レースの裏側を独自の視線でたっぷり振り返るハイライト番組。

またドライバーの想いやマシンの秘密に迫るミニコーナーなど、スーパーフォーミュラの魅力満載でお届けします。レース翌週の金曜日に初回放送！

<放送日時> ※放送日時は変更となる場合があります。

第1戦	鈴鹿サーキット4/23～24	4/29(金)	23:30～24:25
第2戦	岡山国際サーキット5/28～29	6/3(金)	24:00～24:55
第3戦	富士スピードウェイ7/16～17	7/22(金)	24:00～24:55
第4戦	ツインリンクもてぎ8/20～21	8/26(金)	23:30～24:25
第5戦	オートポリス9/10～11	9/16(金)	24:00～24:55
第6戦	スポーツランドSUGO 9/24～25	9/30(金)	23:30～24:25
第7戦	鈴鹿サーキット10/29～30	11/4(金)	24:00～24:55
総集編		放送日未定	

● フジテレビNEXTライブ・プレミアム(CS放送)『スーパーフォーミュラTV』

レースダイジェストとスタジオトークでスーパーフォーミュラの魅力を伝える30分の情報番組。今年にはスタジオゲストに参戦ドライバーに加えて、トップフォーミュラの歴史に名を馳せたレジェンドたちも出演する。過去の名場面から現在まで、二人のゲストがフォーミュラへの熱い想いを語るスーパートークを展開する。司会はフジテレビF1実況アナウンサーが担当。

<放送日時>

第1回 4/29(金) 17:40～18:10 初回放送。再放送あり。(大会翌週の金曜日 新作放送予定)

パーソナリティ:フジテレビアナウンサー、横山エリカ

ゲスト:本山哲、小林可梦偉

● フジテレビ(地上波)『超速GO音』

レースハイライトと小林可梦偉、中嶋大祐がパーソナリティを務めるトークショー番組。

<放送日時>

第1回 4/24(日) 26:35～27:05

パーソナリティ:小林可梦偉、中嶋大祐

進行:ピエール北川

ゲスト:中嶋悟

※第2回目以降は随時放送します。

【映像の配信】

● GYAO!

大会終了10日後よりスーパーフォーミュラの決勝レースを全戦オンデマンドにて無料配信します。

※配信日時は変更となる場合があります。

<http://gyao.yahoo.co.jp/sports/>

● YouTube

予選ならびに決勝の競技映像をダイジェスト版にて当日夜配信します。

※配信日時は変更となる場合があります。

詳しくは予選並びに決勝日の夜、「スーパーフォーミュラ オフィシャルウェブサイト」

もしくは「YouTube」本サイトでご確認ください。

<http://www.superformula.net/>

<https://www.youtube.com/user/superformulavideo>

【インターネット／SNS】

● スーパーフォーミュラオフィシャルWEBサイト

<http://superformula.net>

● スーパーフォーミュラオフィシャルfacebook

<https://www.facebook.com/superformula.official>

【第1戦(鈴鹿)のチケット情報】

○前売観戦券(2日間有効) ※4月22日(金)も入場可

大人1名:4,000円／中高生:1,700円／小学生:800円／3歳～未就学児:600円

○グループチケット(2日間有効) ※4月22日(金)も入場可

3名:10,800円(1名あたり3,600円)

4名:13,600円(1名あたり3,400円)

5名:16,000円(1名あたり3,200円)

ゆうえんちモートピアパスポート1日券付

○パドックパス ※別途観戦券が必要

中学生以上:6,200円／3歳～小学生:1,600円

○ピットウォーク券 ※別途観戦券が必要

中学生以上:2,100円(各日)／3歳～小学生:無料

※レースチケットのご案内(<https://mls.mobilityland.co.jp/onlineshop/Default.aspx>)をご参照ください。

*この件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

株式会社日本レースプロモーション 広報部

102-0074東京都千代田区九段南2-3-25 平安堂ビル

Tel:03-3237-0131 Fax:03-3237-0135

e-mail:media@jrp-inc.net

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

YOKOHAMA

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
◎日立オートモティブシステムズ

J SPORTS

SONY
Action Cam

NINKI-ICHI
人気酒造